

キャラクター名
 緑泉 時里 (ようせん ときざと)

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	大学生
	ブラム=ストーカー				
オプション		年齢	21	性別	男性
覚醒	死	衝動	闘争	初期侵食率	37 %
出自	複数の兄弟姉妹	経験	大事故	邂逅	友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	2	1	2			5	行動値	10
感覚	4	0	0			4	(非装備時)	10
精神	2	0	0			2	戦闘移動	15
社会	0	0	1			1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	2	
運転：四輪	1		芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
赤き鎌	白兵	7r+4	8	8		命中時HP12点回復 HP2点消費 マイナー時
赤き鎌	白兵	8r+4	7	8		命中時HP16点回復 HP2点消費

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ：UGN幹部	
コネ：要人への貸し	
思い出の一品	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
両親	P 感服	N 悔悟		
緑泉 雪里	P 尊敬	N 偏愛		
佐々木 颯二	P 好奇心	N 疎外感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
赤き剣	1	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果：	[LV×2] 以下の任意のHPを消費して武器を作成							
渴きの主	3	4	メジャー	至近	単体	対決		
効果：	命中時HP [LV×4] 点回復							
鮮血の一撃	1	2	メジャー	武器		対決		
効果：	ダイス+ [LV+1] HP2点消費							
コンセントレイト：ブラムストーカー	2	2	メジャー					
効果：	クリティカル値-LV(下限値7)							
スーパーランナー	1	1	マイナー	至近	自身	自動		
効果：	戦闘移動 距離+ [LV×5] m シーン1回							
紅の王	1		常時	至近	自身	自動	ピュア	
効果：	HP消費をLV分軽減							
日常の代行者	★		常時					
効果：	自分の代わりに学校等を代行する従者を作る							
かぐわしき鮮血	★		メジャー					
効果：	血で個人や集団を特定							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

とある八王妃市内の大学の経営学部に通うS県出身の大学3年生
 4年前、家族みんなで旅行に行った帰りに大型の交通事故に巻き込まれてオーヴァードに覚醒した。
 オーヴァードに覚醒した際にUGNに保護され、この交通事故が事件だったことを知る。
 他の兄弟姉妹たちは生き残っているが、6歳年下の妹もオーヴァードに覚醒し、両親は死体が残っておらず、行方不明になってしまった。
 だが、父親が経営していた会社はUGNと協力していたことを地元のUGNの人から聞き、さらに両親共にオーヴァードであることがわかった彼は、もしかしら生きていた可能性があると信じて、妹と共にUGNエージェントとして活動しながら両親を探している。
 家族構成は、行方不明の両親に6歳年上の姉、4歳年下の双子の妹と弟、6歳年下の妹、優里がいる。
 性格は、家族第一主義のファミコン（ファミリーコンプレックスの略称）、家族以外にはあまり興味が無く、任務よりも家族を優先する問題児。
 仕事は出来るのだが、家族との予定と被った際は仕事を他の人に押し付け逃走する。
 本人いわく、「事故に遭う前から家族が大好きだったんだが、事故に遭って以降、それが強くなったな。」と言っている。
 地元の短大を卒業した後、姉に強引に進められて、とある八王妃市内の大学に編入学した。
 彼は、このまま家族がいる地元のS県に留まって父親の会社を引き継ごうかと思っていたが、6歳年下の妹と共に八王妃市に来ることになってしまった。
 優里以外の家族にはUGNのことを秘密にしているが、たまに姉の察する能力が高すぎて、このままオーヴァードの事について隠し通せるのか不安になっている
 週に1回は地元の方にいる姉と双子の妹と弟に連絡をして生存確認をしている。（地元のUGNの友人に保護対象として見守ってくれと願っている）
 UGNの任務と学校が被った際は、『日常の代行者』を学校に向かわせ、成績優秀な優等生を先生の前では演じている
 能力を使って攻撃する際は、手のひらから赤い血が滴り、その血が集まり凝縮して大きな血の色の鎌が出来上がり、その大鎌を使って攻撃する